



# AsyncOS API のトラブルシューティング

- [API ログ \(1 ページ\)](#)
- [アラート \(1 ページ\)](#)

## API ログ

[システム管理 (System Administration)] > [ログサブスクリプション (Log Subscriptions)] を使用し、API ログを有効にして登録します。手順については、『[User Guide for Cisco Secure Web Appliance](#)』を参照してください。

次に、API ログに記録されたイベントの一部を示します。

- API が起動したか、または停止したか
- API への接続に失敗したか、または閉じたか (応答提供後)
- 認証が成功したか、または失敗したか
- 要求に含まれるエラー
- AsyncOS API とのネットワーク設定変更通信中のエラー

## アラート

AsyncOS APIに関連するアラートを送信するようにアプライアンスが設定されていることを確認します。以下の場合にアラートを受信します。

アラートの説明	タイプ	重大度
エラーが原因で API が再起動されました	システム	警告



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。